

卷末資料

1. 研究会，分科会の参加者名簿

研究会の参加者名簿（印は事務局）

学識経験者 龍谷大学経済学部 井口富夫教授
東京工業大学大学院理工学研究科 藤井聡助教授

企業等

- ・ 南区地域経済懇話会（TOWA株式会社，朝日レトゲン工業(株)，オープン工業(株)，京南倉庫(株)，旭光精工(株)，京阪バス(株)，日本新薬(株)，(株)桶谷製作所，(株)片岡製作所，(株)カワタキコーポレーション，(株)ジーエス・ユアサコーポレーション，(株)堀場製作所）
- ・ 伏見区地域経済懇話会（英興(株)，京セラ(株)，黄桜酒造(株)，月桂冠(株)，(株)増田組，サムコ(株)，キョウ正宗(株)）
- ・ 大日本スクリーン製造(株)
- ・ 京都商工会議所，久御山町商工会

行政

- ・ 近畿運輸局（企画振興部企画課，交通環境部環境・安全課，京都運輸支局）
- ・ 京都府（企画環境部交通対策課，商工部企業立地推進室）
- ・ 京都市（都市計画局交通政策課，都市計画局都市づくり推進課，伏見区役所，南区役所）
- ・ 久御山町事業建設部都市計画課

南区分科会の参加者名簿（印は事務局）

学識経験者 龍谷大学経済学部 井口富夫教授
東京工業大学大学院理工学研究科 藤井聡助教授

企業等

- ・ 久世工業団地協同組合，朝日レトゲン工業(株)，(株)桶谷製作所，(株)片岡製作所，(株)カワタキコーポレーション，大日本スクリーン製造(株)，京阪バス(株)
- ・ 京都商工会議所

行政

- ・ 近畿運輸局（企画振興部企画課，交通環境部環境・安全課，京都運輸支局）
- ・ 京都府（企画環境部交通対策課，商工部企業立地推進室）
- ・ 京都市（都市計画局交通政策課，都市計画局都市づくり推進課，伏見区役所，南区役所）

久御山町分科会の参加者名簿（印は事務局）

学識経験者 龍谷大学経済学部 井口富夫教授

企業等

- ・ 久御山町商工会（(株)朝日製作所，(株)大林組，(株)富永製作所，津田電線(株)，中沼アートスクリーン(株)，(株)ツタエック，大日本スクリーン製造(株)，京阪宇治バス(株)

行政

- ・ 近畿運輸局（企画振興部企画課，交通環境部環境・安全課，京都運輸支局）
- ・ 京都府（企画環境部交通対策課，商工部企業立地推進室）
- ・ 久御山町事業建設部都市計画課

2. 事業所アンケート調査結果の要約

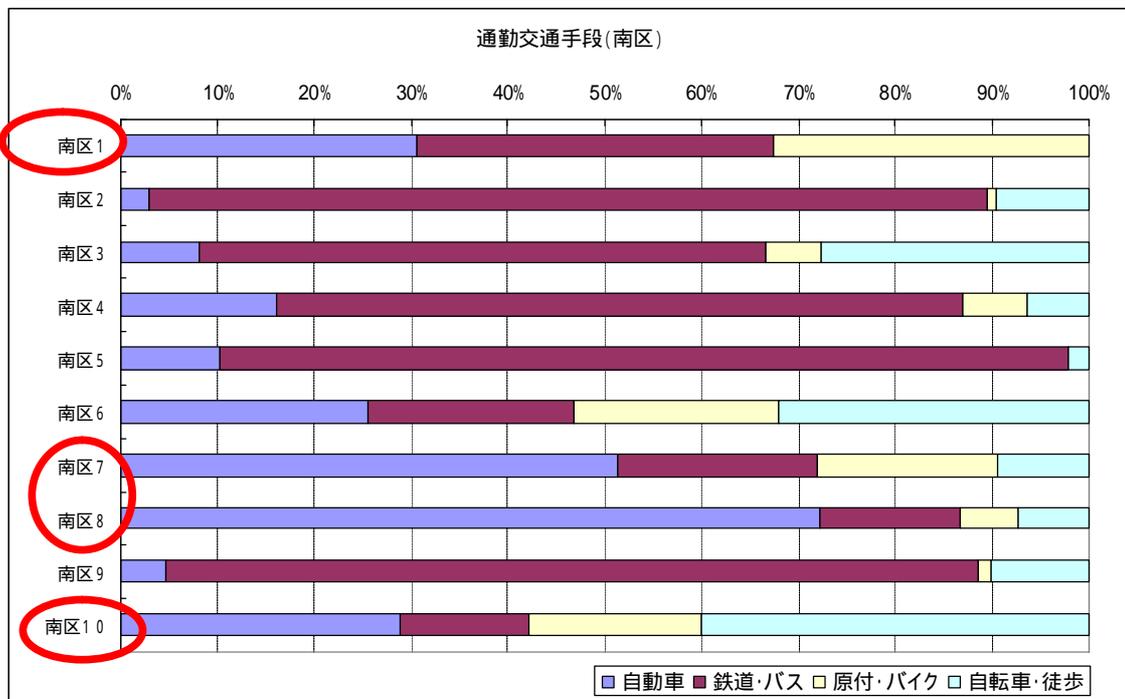
2-1 事業所アンケート調査の概要

京都市南区，伏見区，久御山町の事業所にアンケート調査（付録）を実施し，下記の事業所から回答を得た。

地域	回答企業数
京都市南区	10
京都市伏見区	6
久御山町	17
合計	33

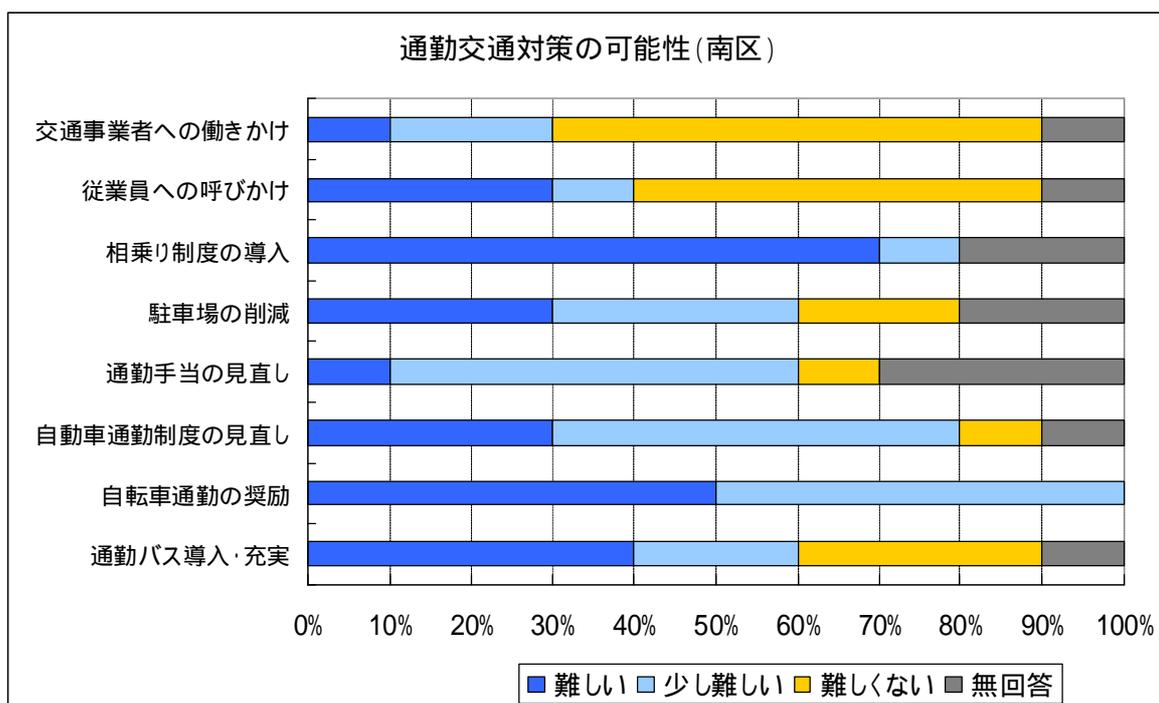
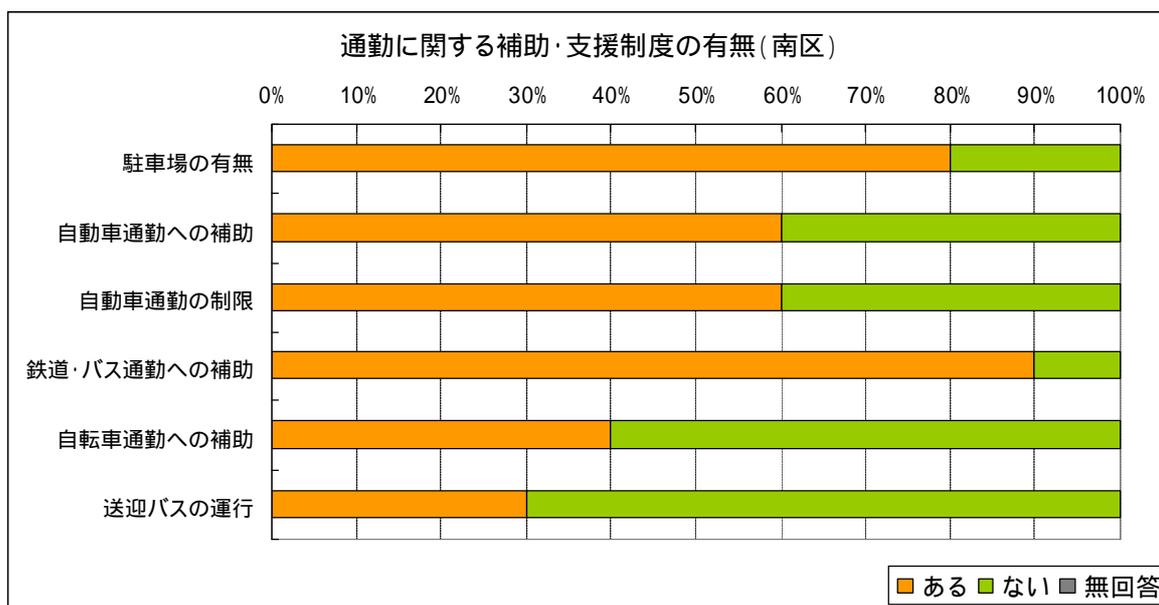
2-2 京都市南区の結果

京都市南区の企業の従業員の通勤交通手段は，鉄道利用が高い企業と自動車利用が高い企業とに分かれる。久世工業団地では，公共交通が不便なため，自動車の分担率が特に高い。



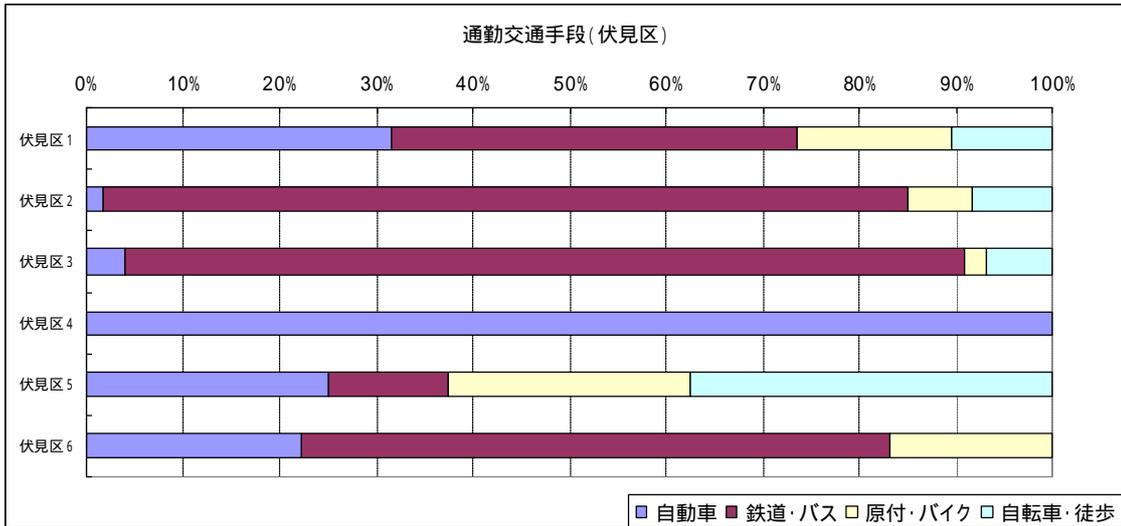
通勤に対する補助・支援制度は、駐車場、鉄道・バス通勤への補助は整備されている。独自に送迎バスを運行している企業もある。

通勤交通対策の可能性としては、「従業員へのクルマ通勤からの転換の呼びかけ」、
「交通事業者への公共交通利便性向上の働きかけ」などは難しくない、自社が取り組むことになる、「自転車通勤の奨励」、「相乗り制度導入」、「自動車通勤制度の見直し」は難しいという回答であった。



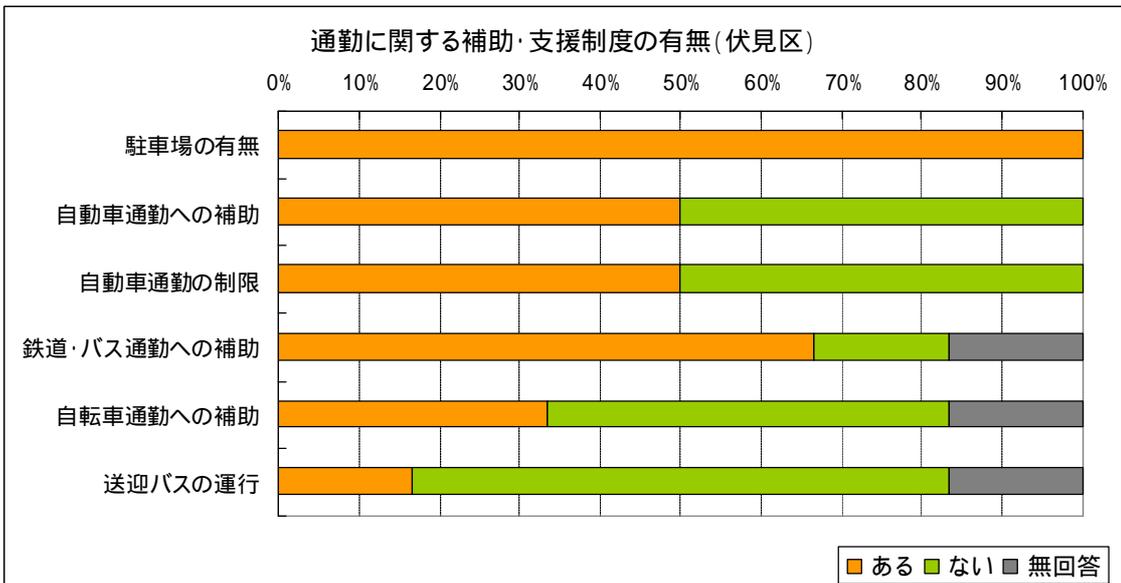
2-3 京都市伏見区の結果

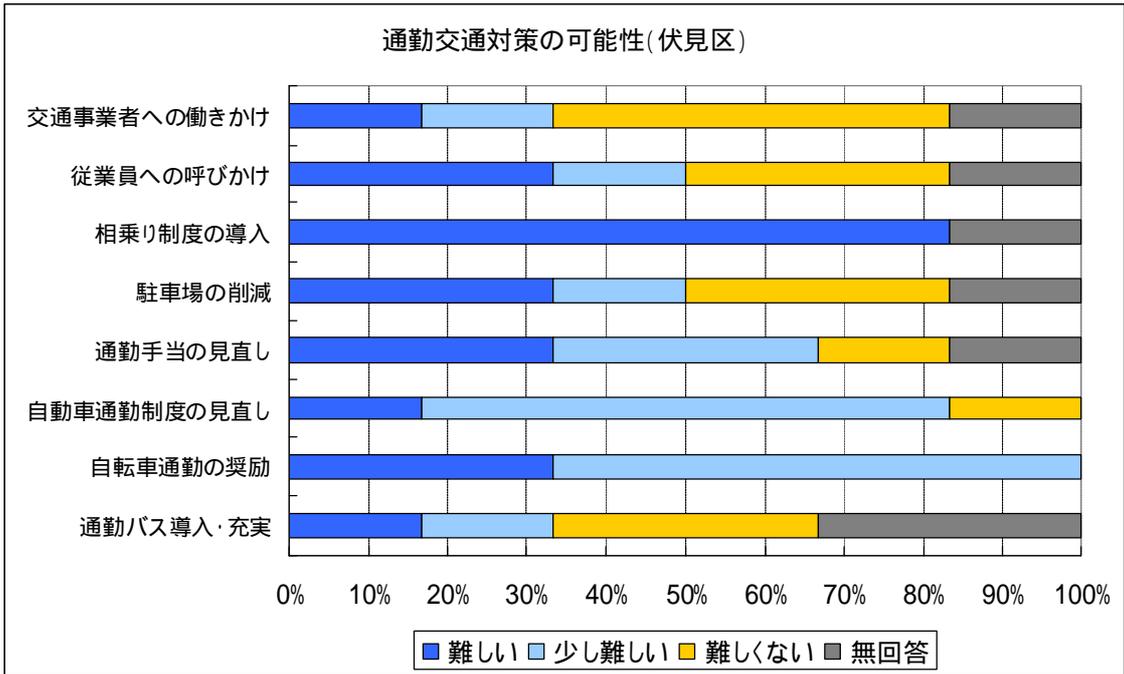
京都市伏見区の企業の従業員の通勤交通手段は、鉄道利用が高い企業と自動車利用が高い企業とに分かれるが、鉄道駅が比較的隣接していることから、南区久世地区に比べる自動車分担率は低い。



通勤に対する補助・支援制度は、駐車場、鉄道・バス通勤への補助は整備されている。独自に送迎バスを運行している企業は少ない。

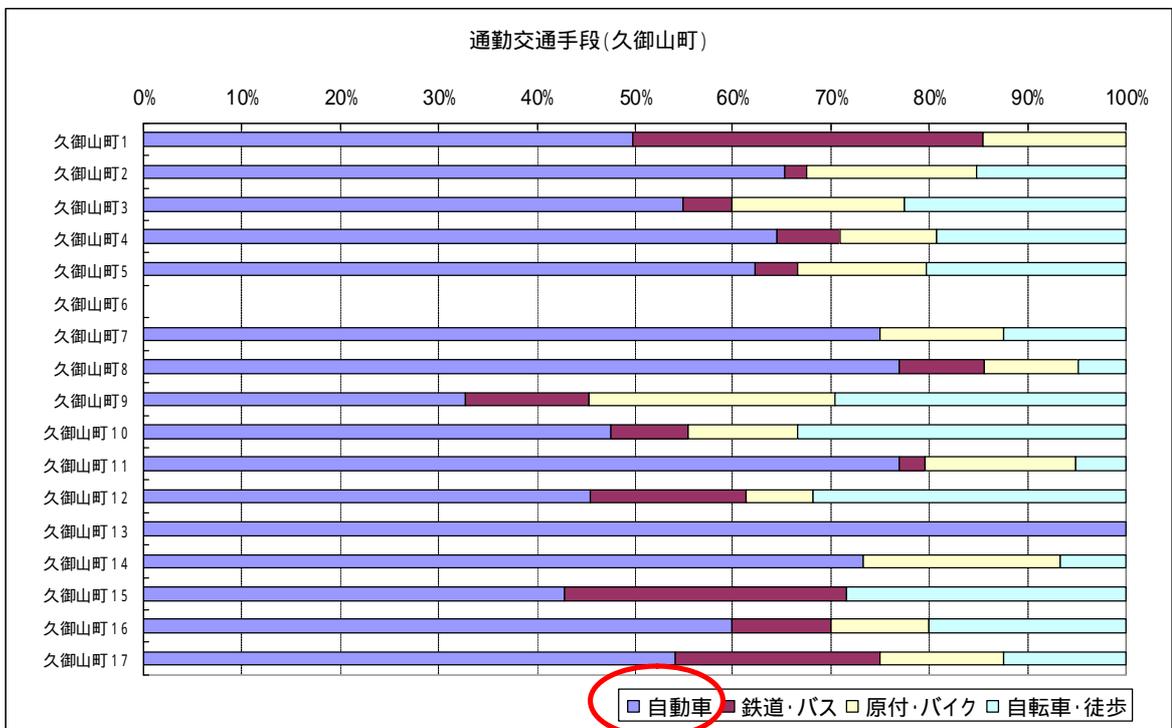
通勤交通対策の可能性としては、「従業員へのクルマ通勤からの転換の呼びかけ」、「交通事業者への公共交通利便性向上の働きかけ」などは難しくない、自社が取り組むことになる「自転車通勤の奨励」、「相乗り制度導入」、「自動車通勤制度の見直し」、「通勤手当の見直し」は難しいという回答であった。





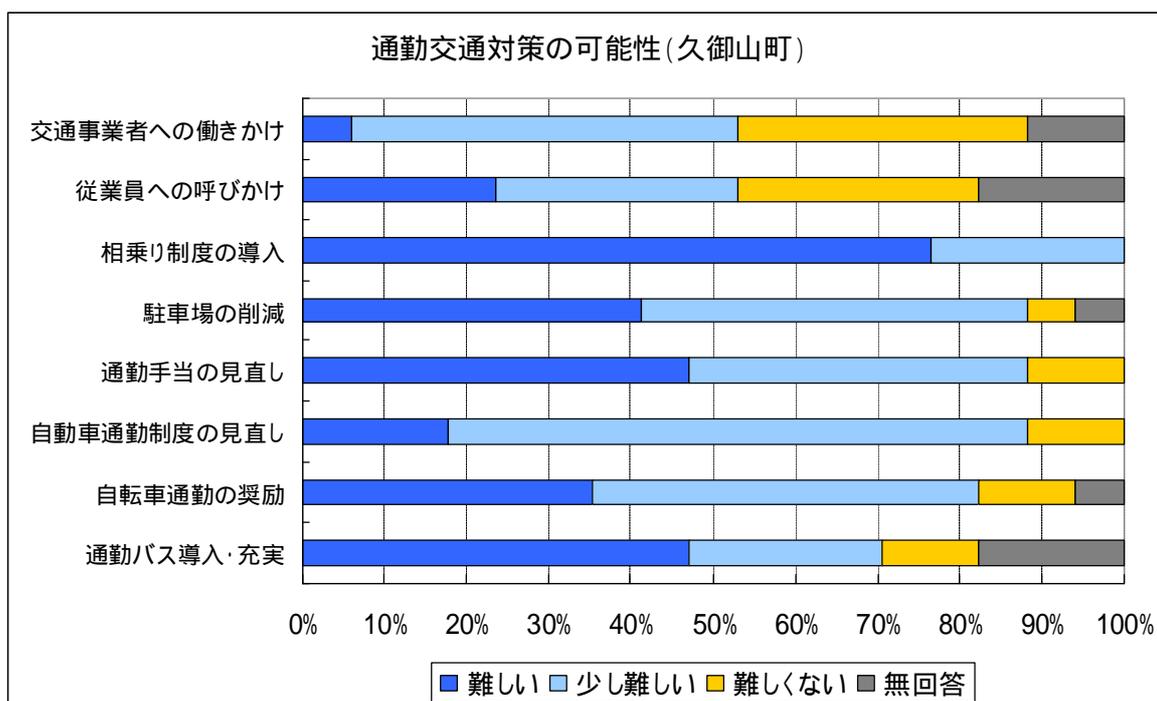
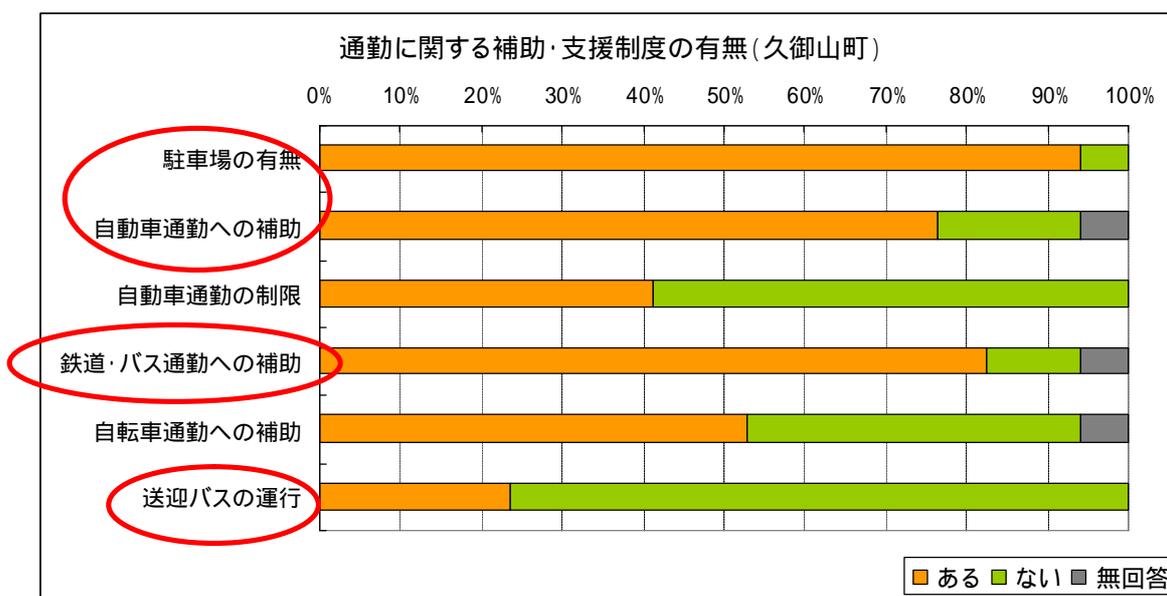
2-4 久御山町の結果

久御山町は、町内に鉄道駅が存在しないことから、すべての事業所で通勤交通は自動車を中心である。



通勤に対する補助・支援制度は、駐車場設置、鉄道・バス通勤への補助は充実している。独自に送迎バスを運行している企業は約 1/4 (4 社) である。

通勤交通対策の可能性としては、「従業員へのクルマ通勤からの転換の呼びかけ」、
「交通事業者への公共交通利便性向上の働きかけ」などは難しくない、自社が取り組むことになる、「相乗り制度導入」、「駐車場削減」、「通勤手当の見直し」、「自動車通勤制度の見直し」、「自転車通勤の奨励」は難しいという回答であった。



3. 南区久世地区における企業の共同運行交通システムの提案

本調査で実施した研究会，分科会，事業所アンケート，事業所ヒアリング，個別事業所との調整等を踏まえて，特に，実施の可能性が高い，京都市南区久世地区を対象に，「企業の共同運行交通システム」を提案した。

共同運行交通システムの実証運行（向日町ルート，竹田ルート）

- ・ 実施内容：
 - 「共同運行交通システム」(向日町・竹田ルート)の運行
 - ・ 現在個別に通勤バスを運行している事業所の車両の活用，新たにバスまたはジャンボタクシーを増車して増便運行
 - ・ 昼間時のバス運行
 - ・ 夜間のデマンド・タクシー
 - マイカー通勤者からの参加モニター募集
 - 利用者へのアンケート調査（要望などの把握）
 - 参加企業の従業員へのモビリティ・マネジメント（MM）
～ 講演会の開催，従業員へのアンケート調査の実施～
 - 共同運行交通システムの運用管理（運用管理組織の検討）
 - 実施結果の分析・実施の提案
- ・ 参加企業：現在，独自で通勤送迎を行っている企業を含めた複数企業

京都府南部地域の企業と連携した交通運営方策研究会
 通勤交通に関するアンケートのお願い

本日は、研究会にご出席いただきありがとうございます。
 さて、本日、海外の先進事例や地域の交通課題から想定される交通施策などを紹介しました。
 今後、各地域ごとに地域の現状に即じた施策メニューについて、検討していきたいと考えています。
 つきましては、ご多忙のところ誠に申し訳ありませんが、貴事業所の通勤交通の実態や貴事業
 所において取り組みが進められそうな交通施策についてお伺いしますので、**1月26日(木)**
 までにご回答いただくようお願いいたします。

※ ご回答は、メールもしくはファックスにて下記あてに送信してください。また、アンケ
 ートの様式は、下記あてにメールアドレスをお知らせいただきましたら、送信いたします。

株式会社 まち創生研究所 酒井 あて
 E-mail: sakai@issr-kyoto.or.jp
 FAX: 075-221-7711

それぞれ質問をよくお読みになった上で、□の欄には✓をつけてください。
 (.) の中には数字を、____には名称・理由等を具体的に記入ください。

質問 1 はじめに、貴事業所の概要についておたずねします。

1) 事業所名は？ () 人

2) 従業員数は？ () 人
 (パート、アルバイトを含めお答えください)

3) 最寄りの鉄道駅・バス停は？ () 分
 また、貴事業所からどれくらい？ () 分
 () 徒歩 □ 自転車 □ 自動車 □ 徒歩 □ 自転車 □ 自動車 □ () 分

4) ご回答いただきました担当者の氏名 () 分
 (おおよその数字で結構です。)

連絡先をご記入ください () 分
 (ご所属) () 分
 (TEL) () 分
 (E-mail) () 分

質問 2 貴事業所の従業員の通勤の現状についておたずねします。

1) 従業員の主たる通勤手段は？ () 人
 (おおよその数字で結構です。)

2) 通勤に関する補助・支援制度は？ () 人
 ・通勤用の自動車の駐車場は () あり □ ない
 ・自動車通勤に対する補助は () あり □ ない
 ・自動車通勤の制限を () していない □ している
 ・鉄道・バス通勤に対する補助は () あり □ ない
 ・自転車通勤に対する補助は () あり □ ない
 ・(自社車両または近隣事業所との共同運行の) 送迎バスは () あり □ ない

質問 3 貴事業所に、次のような意識があると思いますか？

1) マイカー通勤抑制は、会社のイメージアップにつながる、という意識が、貴事業所には.....	全然、ないと思う	どちらとも思えない	とても、あると思う
2) マイカー通勤を抑制すると、通勤時の交通事故が減る、という意識が、貴事業所には.....	全然、ないと思う	どちらとも思えない	とても、あると思う
3) マイカー通勤を抑制すると、社員の遅刻が減る、という意識が、貴事業所には.....	全然、ないと思う	どちらとも思えない	とても、あると思う
4) マイカー通勤抑制は、経営節減(利益の向上)につながる、という意識が、貴事業所には.....	全然、ないと思う	どちらとも思えない	とても、あると思う
5) マイカー通勤抑制は、企業の社会的責任の一つである、という意識が、貴事業所には.....	全然、ないと思う	どちらとも思えない	とても、あると思う
6) マイカー通勤抑制は難しい、という意識が、貴事業所には.....	全然、ないと思う	どちらとも思えない	とても、あると思う
7) 時差出勤を導入してみたい、という意識が、貴事業所には.....	全然、ないと思う	どちらとも思えない	とても、あると思う

質問 4 貴事業所では、以下のような取り組みを進めることは可能ですか？

通勤バスの導入・充実 この対策では..... についてお聞かせします。 この対策は、..... 自社詳細、あるいは近隣の事業所と共同で通勤バスを導入します。	この対策の実態は、 難しい と思えますか？ (あてはまるすべてに)	<input type="checkbox"/> 難しい □ 少し難しい □ 難しくない <input type="checkbox"/> なぜ難しいか、お答えください <input type="checkbox"/> 費用がかかる <input type="checkbox"/> 乗り手が少ない <input type="checkbox"/> 従業員の不足 <input type="checkbox"/> 従業員の反対が予想される <input type="checkbox"/> その他
自転車通勤の奨励 この対策では..... についてお聞かせします。 従業員の通勤のために、自転車を購入したり、自転車通勤者のための自転車置場やロッカー、シャワールーム等を整備します。	貴事業所で、この対策を「検討する」ことはあり得ると思えますか？	<input type="checkbox"/> 難しい □ 少し難しい □ 難しくない <input type="checkbox"/> 絶対、あり得ない <input type="checkbox"/> やや、あり得る <input type="checkbox"/> 十分、あり得る
<input type="checkbox"/> 難しい □ 少し難しい □ 難しくない <input type="checkbox"/> なぜ難しいか、お答えください <input type="checkbox"/> 費用がかかる <input type="checkbox"/> 乗り手が少ない <input type="checkbox"/> 従業員の不足 <input type="checkbox"/> 従業員の反対が予想される <input type="checkbox"/> その他	貴事業所で、この対策を「検討する」ことはあり得ると思えますか？	<input type="checkbox"/> 難しい □ 少し難しい □ 難しくない <input type="checkbox"/> 絶対、あり得ない <input type="checkbox"/> やや、あり得る <input type="checkbox"/> 十分、あり得る

